

令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

「知識・技能」面では、アルファベット表を教室内や廊下側に貼って、ゲームや歌などの時間を設定することでアルファベットへの意欲や関心が深まった。「思考・判断・表現」面では、ペアやグループなどの形態でスモールトークやトーキングの場面を多く設定することで表現の仕方に慣れ親しむことができた。「主体的に学習に取り組む態度」では、テストやワークシートで書く活動を増やすことで、書くことに意識をもつことができた。

(2) 課題

「知識・技能」では、新しい単語や文を絵で提示し、音と一緒に書き表すことを授業改善のポイントとしていたが、絵や音と一緒に書き表す時間の確保が不十分だった。

「思考・判断・表現」では、既習事項を生かして、日常のことをスモールトークで話したり児童自身の話も取り入れたりする場面の設定時間が、もう少し必要だった。

「主体的に学習に取り組む態度」では、テストやワークシート以外にも書く活動を取り入れる時間を十分に設定できなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年		/	/
第5学年		(第4学年時)	/
第6学年	平均正答率と中央値が目標値を上回っている。	(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
/	/	/

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単語の意味・理解や単語の読みは、理解している。 ・アルファベットの聞く・書くことがもう少しである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話全体の理解や英文の書きは、できている。 ・基本的な表現を用いて、英文を書くことが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな教科名を書いたり名前や続柄を書いたりすることができている。 ・できる「Can～」という動詞を主語の次を書いて、正しい英文を作成することが、不十分である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前をローマ字で書けるようにする。 アルファベットをデジタル教科書を使って理解させ、ゲームやファニックス、書く活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容の中で、教師がスモールトークをした後に、児童にもペアやグループで同じようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやワークシートなどを使って、書く活動を取り入れる。 低学年での学習内容を想起させて書かせることで、書く活動に慣れさせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材などを使って、フォニックスやアルファベットの読み書きを練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとのキーセンテンス（重要な文章）や既習の表現を理解させ、文章を書く活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動をワークシートやゲーム等を使って取り入れることで、書くことに慣れさせる。既習表現の復習時間を設定する。